

JAAC だより

留学生に求められる人間力とは（3）

～ 大学生活（留学生活）は“人間力”を養う場でもあります ～

先々月号と先月号においては、『～する能力』とか、『～ができること』などと言った、大学生のうちに身につけておく
と良いと思われる能力的な事柄についてお話をしてきました。ここで言う『能力(的)』とは、これから社会に出る皆さんが持つべき『持ち物』とでも言うものでした。今回は、元東京六大学の某大学就職課に勤務されていたI氏とのお話を参考にしなが
ら、企業が求める人間像についてまとめながら、一緒に考えてまいりたいと思います。

『学生たちは大学在学中に、将来、自立するための様々な準備をしているんです』、とI氏は言っています。私もその通りだと思
います。ここで、社会に出て社会人になるということについて少し考えてみましょう。よく、『学生と社会人は違う・・・』などと言
いますが、『社会人』の定義を辞書で見ると、『学校や家庭からの保護から自立して・・・実社会を構成する人の一人』などと表
されています。この定義から言えば、親からの経済的援助や保護を受けずに、自立することが『社会人』の仲間入りをするこ
とのようなのです。『自立』という観点から見ると、『社会人』＝『自立人』となるのではないのでしょうか。社会に出て生きて
行くということは、仕事に就いて自分で給料を稼ぐことですから、自分の給料に見合った生活をしていくという、適切な金
銭感覚を身につけることも大事なことです。そして、それぞれの立場でお金の大切さとありがたさを知っていくことでは
しょう。

『社会人』の定義が何であれ、また、自分が就く職業や職種が何であれ、実社会で生きるということは、必ず“人との関わり”
を持つことです。人と人との関わりを通して、自分自身も人間的に成長していくんです。『実は、この“人間的に・・・”
と言われる“人間性”こそが、その人の“人間力”の根底にあって、最も大事なことだと思うんです』、とI氏は言われて
います。この“人間性”とは、その人の心の中にある内面的な気持ち（マインド）から、その人の思考や言動、行動様式（パ
ターン）などに現れるものです。つまり、『その人なりのあり方』とでも言えましょうか。自分を客観的に見て、一人の
人間としての自分自身の人となりを知ることはとても大切なことです。

I氏はまた、『その人の人間性を語るとき、他人を思いやる気持ちや、いたわる気持ち、そして、他人を尊重する気持ち
を持っているかどうか、ということがとても重要です』と続けています。相手のことを思いやる気持ちがなければ、他人を理
解することはできません。このことはとても大切なことです。I氏は会社という特殊な組織を次のように説明されてい
ます。『・・・会社とは、ある意味において社会の縮図のようなものです。学校を卒業したばかりの若い新入社員から、そ
ろそろ定年を迎える60歳代の社員までが、同じ会社の中で共通の目標や目的に向かって仕事をしています。それは、ま
るで社会を構成している様々な年代の人々の集合体なのです。ですから、社員に求められることの一つに、年齢や立場の
異なる人々との上手な交わり方や、関わり方ができるか、ということが挙げられます』。会社での人との関わり方が上手
な人は、実社会においても他人と上手く付き合うことができると言われています。人と関わるということは、表面上で
上手く体裁を整えるということではなく、心から相手の気持ちになって物事を考えることができるか、ということなん
です。

『一例ですが、学生やパートの人が色々な飲食店やコンビニなどでアルバイトをしている姿を見かけますね。接客方法
や接客時のことばは全てマニュアル化されています。ちょっと意地悪な言い方をしますが、そこでアルバイトをしている
店員の方全てがお客様のことを一番に考えて、心底から心のこもったことばで接客していると思いますか？ おそらく、
残念ですがそれは、どんな仕事でもそこまでは望めることではないと思います。マニュアルに書いてあるこういう言い方
をすれば良いんだ、という方がほとんどかもしれませんね。でも、そこには、マニュアルから離れて本当にお客様対し
て、このようにことばをかけてあげたい、と思っている人がいると私は信じています。ですから、就職をする時も、仕事
に就いてからも、本当にその会社の仕事が好きで、そこで働くことによって、何らかの形で社会とそこに生きる人々に貢
献したいという気持ち（マインド）を持ち合わせている人が、貴重な存在となるんです。貴重な存在だからこそ、会社は
そういう人達をより求めているんです』と、I氏は締めくくりました。

このように、その人の心の奥底にある気持ち（マインド）のあり方が、その人の“人間性”となって現れます。その気
持ち（マインド）が純粋であればあるほど、そこに心がこもったことばとして相手に伝えることができ、心の奥底（マイ
ンド）から出る飾らないことばだからこそ、相手にその意味が伝わるのです。そのような“人間性”を身につけるための
授業は大学にはありません。それは、皆さんの心の中にあるものですから。（次号に続く：カリフォルニア担当 照井）

コラム：後輩に伝えたいにんなこと、あんなこと（第7回）

（JAAC 第6期生 マリオ・マツカタ）

南カリフォルニアは夏が終わりに近づき朝晩が肌寒い毎日です。今年もあと残すところ4ヶ月だなんて信じられないですね。皆さん、秋学期も始まり、かなり留学生活もスピードに乗ってきたと思いますが、いかがお過ごしでしょうか？

さて、多くのアメリカの大学は9月下旬から10月にかけて Homecoming という行事があります。本来は学校のOBやOGが母校に帰ってくるイベントとして定められた行事ですが、日本で言う大学祭のことです。実は今年、私は14年ぶりにミズーリ州にある私が通った母校のホームカミングに顔を出そうと思っています。当日は、昔の大学の仲間も誘い合って、それこそ、何十年ぶりの再会と当時の思い出の場所をいろいろと回ってくる予定です！

留学生である皆さんは、大学のOB・OGがキャンパスに戻ってきても何も楽しいことはないので、このホームカミングのムードにどうしても取り残されがちですが、誰でも楽しめるイベントがたくさんありますので、是非、参加してみるといいと思います。特にホームカミングの目玉イベントはパレードとアメフト観戦です。パレードは「フロート」と呼ばれる色とりどりの紙などで作られた大きな曳山(?)がたくさん登場したり、大学内のサークルが思い思いの格好で仮装行列をしたり、大学のブラスバンドが演奏しながら大学の周りを行進します。多くの場合はただの行進ではなく、数々のフロートも仮装行列もその年のホームカミングのテーマに沿っているようで、それは見ていて楽しいものです。また、自分の大学チームがプレーをするアメフト試合にいたっては、シーズン真っ盛りということもあり、観客の歓声はキャンパス全体に響くほど、とても盛り上がります。このように、ホームカミングはアメリカ人だけでなく、留学生にも楽しめる内容になっていますので、今年は是非皆さんもパレードの沿道やアメフト場に出向いて参加してみてください。

私は留学成功の秘訣のひとつとして「外国人(日本人)だからと言って遠慮しない！」ということがあげられると思います。私達日本人は「所詮、よそ者だから」とアメリカ人に対して、遠慮しがちです。しかし、それでは本当に真髓からアメリカ留学にどっぷりつかるとはできません。そして、その遠慮がなくなれば、留学生活が5倍も10倍も楽しくなるのは間違いありません。この機会にアメリカ人と同じ気持ち、そして同じ視点でホームカミングを楽しんでいただければと思います。充実した留学、がんばりましょう！

カリフォルニア通信

（カリフォルニア担当：照井）

【ロサンゼルス郊外で列車事故】アメリカ西海岸時間9月12日午後4時半ごろ（日本時間13日午前8時半ごろ）、ロサンゼルス郊外の北北西に位置する Chatsworth（チャッツワース）の町で、乗客222人を乗せた通勤列車と貨物列車による正面衝突事故が起きました。死者25人、重傷者95人を出したこの事故は、アメリカでも過去15年間において最悪の事故となりました。事故を起こしたのは、ロサンゼルス郊外を結ぶメトロリンク（Metrolink）の通勤列車と、ユニオン・パシフィック（Union Pacific）の貨物列車でした。事故の原因は、貨物列車を通過させるために赤信号になっていた信号を、メトロリンクの車掌が見落としたためとされています。

メトロリンクはロサンゼルス南側にも路線があり、ここアーバインの町も通っています。普段から車を運転している学生の皆さんも、このメトロリンクの踏み切りを通ったことがあることでしょうか。また、メトロリンクに乗ってロサンゼルスやサンディエゴ方面へ行かれた人もいることでしょうか。

車社会であるカリフォルニア州は、鉄道システムが発達している日本とは違い、多くの場合単線で運行されています。今回の路線も単線地区でした。また、運営の仕方も独特で、カリフォルニア州を走る鉄道でありながら、フランスの交通事業会社であるヴェオリア・トランスポートーション（Veolia Transportation）会社が運営をしていました。運営会社がどこの、何と言う会社であれ、公共交通機関を運営する者として安全には万全の策を講じて欲しいものです。犠牲になった方々のご冥福を心からお祈り申し上げます。

ミズーリ通信

（ミズーリ担当：ライマン・ピットマン）

【無理のない計画的な学習方法が大事です】半分死人のように疲れ果てた顔にどんよりした目をして、目の周りには黒い隈をつくり、髪も梳かさず髭も剃っていない学生・・・。いったい“彼”に何が起きたのでしょうか？ 彼は今日の試験のために「一夜づけ」をしたのです。たぶん、皆さんも同じことをした経験があるでしょうね。「一夜づけ」はその場限りの安易な勉強方法で苦勞も多く、先生方を驚愕させて困らせませす。これをエクササイズ（運動）に例えて、腕立て伏せを毎日50回ずつ一週間続けるとしましょう。腕立て伏せ50回は大した回数ではありません。でも、一週間分の腕立て伏せ350回を一日でやることは勧めませんね。その翌日は気分も優れず、腕は痛み、身体を鍛えるためのエクササイズのはずが、ただ疲労感が残るだけです。勉強も週の全般に渡ってする方が、一時に詰め込むよりも良いのでは。仮に今日は月曜日で、試験は一週間後だとします。毎日1時間ずつ勉強をするか、それとも日曜日にまとめて7時間勉強をするのか・・・。もし、日曜日が一週間に6日あるなら、日曜日に7時間勉強するのも良いでしょう。でも、そんなことはありません。そして日曜日、1科目について7時間も勉強することがどれだけ辛く、まるで拷問のようだと思うでしょう。試験前には皆さんに2つの勉強方法があるんですよ。毎日勉強することを選択しないのであれば、試験の前日に「一夜づけ」という方法が残されます。頭がボーっとして冴えず、くしゃみをすれば頭に入っていたことが耳から噴き出してしまふような「一夜づけ」。他に選択肢があるのに、私達は何故、これを繰り返す、この方法を選ぶのでしょうか？

一期一会 『ピンポン』と玄関のチャイムが鳴り、出てみると見慣れない顔の宅急便屋さん。『今ここの地区の担当者が夏休みで、代わって私が・・・』と、何気ない挨拶のことばを受け、『そうですか。暑いのにご苦労様』と、私も軽くことばを交わした。認印を探していると、『羨ましいですね・・・、ご実家から野菜やお米が送られてくるなんて・・・』と言われ、つい私も、『長野の家内の実家から時々送ってもらいますよ』、と話が弾んでしまう。尋ねてみれば、その配達員の方も

お国は長野だと言う。偶然だ。長野県に限らず、日本のいたるところから少しずつ自然が消えていく様を嘆きながら、つい話しこむうちに5分、10分と時間が過ぎていく。聞いてみれば私と同年代だ。年老いた両親を持つ身であることまで、境遇が似ていた。今日も残暑が厳しい。『宅急便屋さん、ちょっと待ってて・・・』と引き留め、私は冷蔵庫からペットボトルのお茶を一本出してきて、彼の手に渡した。『ありがとうございます。助かります。』と、礼を言う彼の額はまだ汗だくだ。(照井)

Siesta ちょっと、一休みしませんか・・・?

～ 「首相」と「大統領」 ～

Prime Minister と President

つい先ごろ、日本では突然の首相辞任により、近いうちに自民党(自由民主党)から新しい総裁が選出されます。また、アメリカでは現ブッシュ大統領の任期も終わりに近づき、いよいよ、民主党と共和党それぞれが選んだ大統領候補による対決も大詰めになってきました。さて、「首相」と「大統領」の違いを知っていますか? とりあえず、「首相」とは行政の長であり、「大統領」は国家元首であるということは皆さんご存知だと思いますが、大学で政治学を取った人なら詳しく知っているかもしれませんね。その国の政治制度や国のあり方によって、その国の長たる者の呼称や、彼(彼女)が持つ職責と職権、また、役割も異なります。日本とアメリカでほぼ時を同じくして政治上の責任者が変わるのですから、この機会に「首相」と「大統領」の違いを調べてみてはどうでしょうか。きっと、新しい発見がありますよ。今回のこの記事では、勉強の合間に「ちょっと、一休み」とはいきませんね。ゴメンナサイ。

Help Line

FAQ

「そろそろ就職のことを考える時期かなと思って・・・」

A: 大学3年生になった今、少しずつ就職のことを考えていきましょう。タイミング的には最適です。少しずつで構わないので、希望する職種の就職状況について、自分なりに調べ始めてください。留学生のための“ジョブフェア”や“就職説明会”などを主催している会社のイベント等も見えておくといいですよ。また、実際に興味のある会社があれば、インターネットを通じてその会社概要を調べたり、また、必要に応じて希望する会社の「採用について」などの項目をクリックして、直接、今後の採用状況について尋ねることも可能です。ある程度まで調べたら、カウンセラーに必ず相談してくださいね。早いうちから調べることは大事なことです。今すぐに希望する企業を決める必要はありません。今は、できるだけ多くの情報を集める時期だと思います。一緒に考えていきましょう。

【編集後記】 ●秋学期もスタートして、人によってはもう1ヶ月が過ぎようとしている人もいることでしょう。皆さん、順調に今学期も進んでいるのでしょうか・・・? ▼障害者のオリンピックであるパラリンピックもそろそろ閉幕です。多くの日本人選手が活躍しました。毎回思うのですが、もっともっとメディアで彼らの活躍を伝えてほしいなあ。障害を持つ人の頑張る姿に、多くの健常者の人たちが勇気もらい、励まされることが多いのではないのでしょうか◆ガソリン価格の高騰から、通勤列車の利用者が増えてきている矢先のメトロリンク列車事故。今回のような事故が再発しないよう確固たる対策を講じてほしい★突然の福田首相の辞任で、これから日本はどうなっちゃうのかなあ・・・なんて思っていたら、サブプライムローンの影響でアメリカの大手証券会社リーマン・ブラザーズが倒産。これから日本は・・・、世界経済は・・・、どうなるんだろう▲それにしても、月日の経つのが早いこと・・・。今年もあと3ヵ月半しかないなんて、信じられませんね。この勢いで年を取っていったら、もしかして1年で2つも3つも年を取るんじゃないかなあ・・・なんて心配です。まっ、・・・そんなわけないか(笑)。(照井)

Let me remind you・・・

★JAAC生の皆さん、保護者の皆さん、何でもお気軽にご相談ください

■ジョブフェアのご案内： ロサンゼルス(9/26, 9/27)とボストン(10/31, 11/1, 11/2)でジョブフェアが開催されます。詳しくは、<http://www.careerforum.net/>を参照してください。

◆年末帰省の航空券の予約はお早めに： 年末年始を日本で過ごされる方は、早めに帰国の計画を立てましょう。

▲ロス郊外メトロリンク通勤列車事故： 9月12日午後4時半ごろ、ロサンゼルス郊外の北北西に位置するChatsworthにてメトロリンク通勤列車とユニオン・パシフィック貨物列車の正面衝突事故が起きました。この事故により、乗客222人の内、25名の方が亡くなり、95名の方が重傷を負いました。亡くなられた方々のご冥福を心からお祈りすると共に、ご家族の皆様には心よりお悔やみ申し上げます。また、重軽傷を負われた方々の早期回復を心よりお祈り申し上げます。

●JAAC本部内保護者様専用ご連絡・ご相談窓口：

フリーダイヤル 0120-525-626 tokai@jaac.co.jp 担当：高瀬

◎JAAC 日米学術センター 鈴木：t.suzuki@jaac.co.jp ◎カリフォルニア担当：照井 k-terui@mtg.biglobe.ne.jp